

租税回避地使い資産隠し

政治家・高官 300人

国際調査報道ジャーナリスト連合（ICOJ）は3日、ヨルダンのアブドラ国王やチェコのベビン首相らが、タックスヘイブン（租税回避地）を利用して資産隠しを行っていたと明らかにしました。政治家や政府高官も300人以上。富裕層は1カ国・地域の300人以上。富裕層は1カ国・地域の300人以上。

この闇は、世界の税逃れが問題となり、その対策が国際的にも議論されるなか、多くの政治指導者がタックスヘイブンを利用してきた実態が再び明らかになりました。

ヨルダン国王・チェコ首相…国際調査報道

2016年の「パナマ文書」や17年の「バタタイヤ文書」などを公表したICOJは今回、各地の法律事務所を通じて100万件以上の内部文書を入手し、「バンドラ文書」による「アフダラ国王は、英バージニア州から1,100万ドルの内部文書を購入しています。

米紙フリント・ポストや英BBCなど150報道機関の600人以上の記者が2年間、調査・分析しました。

この結果、米英で

上級の建物を買収したり、建物を経由して2200万ドルの資産を移転したり、フランスの保養地コートダジュールに邸宅を購入。同邸宅が同氏所有した。

この間に必要な印紙税がかかるため、アレア夫妻は40万ドル以上の支払いをまぬかれました。

国民が失業や政府の汚職に怒り、街頭で抗議した「アラブの春」以降も、米カリフ・オーランドの高級住宅地に6800万ドルかけて3軒を購入しています。

ソロモンなどあるべき力で公正な税制をつくる」と述べています。

ほかにもケニアのケニヤッタ大統領やウクライナのゼレンスキーや大統領、エクアドルの

事務局長は英紙ガーディアンに、そうした富は「世界中の国庫から失われ、それがあれば新型コロナウイルスからの立ち直りに使えるはずのものだ」と語りました。

アレア夫妻の取引に違法性はないと言われます。ただBBCによると、アレア氏は一つの

4年に労働党員登録して最初のスピーチで「租税回避地にある信託基金は、免税措置を得られるなど、マイホームの所有者は保険料に付加価値税がかかる。私たちには支払い能

力を感じた公正な税制をつくる」と述べています。

す。

ラソ大統領らも租税回避地を介した取引に

関わったとしていま

す。

经济協力開発機構（OECD）の2010年

の研究によると、

少なくとも1兆3000

0億ドルの富が租税回避

地に移転されていま

す。ICOJのライル

アラン

に、そうした富

は「世界中の国庫から

失われ、それがあれば

新型コロナウイルスか

らの立ち直りに使える

はずのものだ」と語りました。